

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

上腕骨近位部における Deltoid Tuberosity Index (DTI) および CT-based DTI の再現性と骨粗鬆症診断能の検討
1. 研究の対象および研究対象期間 本研究の対象は、2018年1月から2025年12月までの間に、昭和医科大学病院において診療を受け、3ヶ月の間に肩関節のX線検査、CT検査および骨密度検査（DXA (Dual-energy X-ray Absorptiometry) 検査）を実施した患者さんです。
2. 研究目的・方法 本研究の目的は、肩関節のX線画像やCT画像から得られる骨の指標を用いて、上腕骨近位部の骨の状態を評価し、その指標が骨密度とどの程度関係しているかを調べることです。 肩関節正面X線画像から「DTI (Deltoid Tuberosity Index)」という骨の形の指標を測定し、CT画像から同じ部位に対応する骨の形を評価する「CT-DTI」という指標を算出します。これらの指標と、骨密度検査（DXA検査）で得られた結果を比較します。 さらに、これらの指標が骨粗鬆症の診断にどの程度役立つかを統計学的に評価します。本研究では、新たな検査や追加の負担はなく、通常の診療で得られた情報のみを使用します。
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年12月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 診療録より以下の情報を調査し研究に用います：肩関節X線画像、肩関節CT画像、骨密度検査（DXA検査）の結果、患者背景（年齢、性別、身長、体重、既往歴、内服歴）。
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者	昭和医科大学医学部整形外科学講座	天野貴司
研究分担者	昭和医科大学医学部整形外科学講座	岡野市郎
	昭和医科大学医学部整形外科学講座	西川洋生
	昭和医科大学医学部整形外科学講座	小山真平
	昭和医科大学医学部整形外科学講座	工藤理史

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学医学部整形外科学講座 氏名：天野貴司

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8543（内線 3404）